

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 2年3月31日

2次評価日（課長等） 2年3月31日

1 事業名	公用車両管理事務			コード	16203
2 担当部課	部等	総務部	課等	財政課	作成者 宮澤 輝
3 事業概要	目的体系	基本目標	みんなでつくる、確かな未来を拓くまち		
		政策	市政運営の推進	施策	公有財産の適量・適正化
		予算科目	車両管理費	業務委託	一部委託
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし
		根拠法令	道路交通法等の規定に基づく車両管理		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	公用車を利用する職員に安全運転の啓発を行うと共に適正な配車や車両管理を行い、市の業務遂行支援を行った。		
目的	対象者	職員	
	意図	職員の安全運転と適正な配車	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<ul style="list-style-type: none"> 公用車の安全運転管理、法定整備等を実施するとともに、効果的且つ効率的な運行に取り組んだ。 リース期間満了となった車両2台を更新した。（いずれも再リースでの更新） アシスト付自転車の活用 （利用件数1,630件 前年比37件減 総走行距離3,796^{キロ} 燃料削減換算約638^{リットル} 削減co.2 約600kg） 庁用バス業務を委託（利用件数187件 延べ300台 延べ利用者6,943人） 共用車両21台へ民間企業等の広告を掲載し収入の確保を図った。 共用車両運転の適正試験や毎月の庁内通知等を通じ、職員に対する安全運転の啓発を行った。 		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化車両について次年度の更新計画を策定し次年度予算に反映させた。 車両更新時において、効果的な活用が図れるような確かな車両選定を実施した。 車両の状況を確認の上再リースを行い、管理経費の削減を図った。 アシスト付自転車の利用促進を図った。 車両の適正使用及び安全運行に関する庁内通知を行い各種啓発に努めた。 		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
	区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	経常経費	29,120,997	28,452,376	28,663,404	32,705,000
	臨時的経費	0	0	0	0
	* 臨時的経費の説明				
② 人件費	正規職員の人数（人）	2.60	2.60	1.90	2.60
③ 合計コスト（①+②）	前年度比		98.7%	89.1%	122.0%
	財源内訳	46,218,004	45,961,615	39,550,020	48,656,000
	特定財源	3,702,993	3,290,761	4,313,384	4,849,000
	* 特定財源の説明 財産使用料 雑入（広告・保険金等）				
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
自家用自動車協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	14,500	14,500	14,500	15,000
交通安全協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	30,000	30,000	30,000	30,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	44,500	44,500	44,500	45,000
	割合	0.15%	0.16%	0.16%	0.14%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した車両の計画的更新及び更新となるリース車両の内容検討 ・燃料費・修繕費等の削減 ・車両の適正使用と安全運行 ・運行前の車両点検等の徹底
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	<p>上記課題に対し引き続き下記の事項等を実施し改善を図っていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両の更新計画作成 ・車両更新時における的確な車両選定の実施 ・アシスト付自転車の更なる利用促進 ・車両の適正使用及び安全運行に関する庁内通知
改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	
----------	--------	---	--